

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    | ヒトツナ武里教室 放課後等デイサービス |  |     |         | 公表日  | 2025年 3月 28日  |
|---------|---------------------|--|-----|---------|--|---|
|         | チェック項目              | はい   | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点                                      |   |
| 環境・体制整備 | 1                   | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 7   |         | 武里教室はスペースが広いので支援に適しています。パーテーションのおかげで区切る事も出来ます。 | 現状に甘んじることなく、気付きや改善の姿勢を常に意識しましょう。  |
|         | 2                   | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 7   |         | 教室運営に関わる全ての業務において、現場（お子様との関りや支援）を第一にしています。     | 更なる「現場第一」の質と量を高める為に、職員間の声掛けや状況判断、優先順位に取り組みましょう。職員間の情報共有や相互の思いやりを今以上に大切にしましょう。 |
|         | 3                   | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 7   |         | 室内は概ね適切に保たれています。                               | 保護者様からの「玄関付近の指摘（段差・滑り易い?）」は職員間で協議検討しましょう。                                     |
|         | 4                   | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 7   |         | 清掃は毎日欠かさず励行出来ています。                             |   |
|         | 5                   | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 7   |         | 相談室はクールダウンの場としてお子様の意思に合わせて使用する事が出来ます。          |   |
| 業務改善    | 6                   | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 5   | 1       | 適宜に開催され、全職員が各々自発能動的な発言の機会があります。                | 全職員の参画しやすい体制、環境に努めています。   |
|         | 7                   | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 7   |         | 貴重な意見として、ありがたく受け止め、具体策を講じています。                 |   |
|         | 8                   | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 6   | 1       | 適宜に開催され、全職員が各々自発能動的な発言の機会があります。                | 次月の会議の中で意見を積極的に受け止め、業務改善に努めています。  |
|         | 9                   | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 5   | 1       | 現状は行われていない為、今後の課題として実現を目指しましょう。                | 外部による第三者評価は、今後の検討事項です。  |
|         | 10                  | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 7   |         | 月2回の月例研修他、外部のOT・Drのお話も大変勉強になっています。             |   |
| 適       | 11                  | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 7   |         | 欠かすことなく継続しています。                                |   |
|         | 12                  | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 6   |         | 児発管を中心に適宜に開催されています。                            |   |
|         | 13                  | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 7   |         | 「5領域」「冰山モデル」「ABA」等に則り「個人の特性」に向き合い協議しています。      |   |
|         | 14                  | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 7   |         | 個別支援計画を中心にして、その日その時のお子様の様子を加味した支援を目指しています。     |   |
|         | 15                  | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 6   |         | その状況の前後を踏まえて、臨機応変な支援を目指しています。                  |   |
|         | 16                  | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6   |         | 児発管を中心に職員合意の上で、適宜に設定されています。                    | 全職員からのアセスメントを基に、お子様の支援に必要な項目を選択し、具体的な内容を設定出来るように努めています。                       |
|         | 17                  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 5   | 1       | 年間に決めたものに、更にお子様の「やりたい」気持ちを追加しています。             | 職員全体でプログラムの立案に努めます。   |

|  |    |  |   |   |   |   |
|--|----|--|---|---|---|---|
| 切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供                          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 5 | 1 | 運動プログラムをサイクル化しています。年間に決めたものに、更にお子様の「やりたい」を追加しています。                    | より一層、お子様が「楽しい」と満足して頂けるプログラム作成に努めます。       |
|  | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                     | 5 | 1 | 児発管を中心に職員合意の上で、適宜に実施されています。現場支援ではリード指導員が集団支援を担い、プロンプト指導員が個別支援を担っています。 |   |
|  | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。              | 5 | 1 | 即日に共有や必要な対応を講じています。不在の指導員へは翌日の共有を図っています。                              | 時間差になる場合でも、迅速な共有を図ります。                    |
|  | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                       | 4 | 2 | 即日に共有や必要な対応を講じています。不在の指導員へは翌日の共有を図っています。                              | 時間差になる場合でも、迅速な共有を図ります。                    |
|  | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                       | 7 |   | 日々の記録は即日に保護者様へ共有すべく送信しています。支援の検証や改善も即日に策を講じています。                      |   |
|  | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                        | 6 | 1 | 児発管を中心に職員合意の上で、適宜に実施されています。   | 支援計画の更新毎に見直しを行い、必要に応じて計画修正を行います。          |
|  | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                 | 6 |   | 自立と日々の活動と余暇は毎回設定しています。創作や地域交流は長期学休日等に注力しています。                         |   |
|  | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。                          | 7 |   | 活動を促しや声掛けをしますが、本児の意思や選択を優先しています。活動等を強要することはありません。                     | 本児が意思を表出する機会を創出し、お子様の自己決定を支援します。          |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                     | 5 | 1 | 児発管を中心に職員合意の上で、適宜に実施されています。   | 児発管の他、主にそのお子さまの支援に入る指導員が同席するなどの配慮をしていきます。 |
|  | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                   | 4 | 2 | 必要に応じた連携に留まっています。保育所等訪問支援は実施しています。不定期に訪問挨拶は継続しています。                   | 地域連携は優先順位を鑑み、保健機関、医療機関、行政等との連携を検討します。     |
|  | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。      | 7 |   | 児発管を中心に職員合意の上で、適宜に実施されています。送迎時等にも情報共有を図っています。                         |   |
|  | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                     | 4 | 2 | 児発管を中心に職員合意の上で、適宜に実施されています。送迎時等にも情報共有を図っています。                         | ヒトツナ以外の事業所や保育所・園との情報共有に努めてまいります。          |
|  | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。             | 3 |   | まだ、移行したお子さまがいらっしゃらない。機会が来たら児発管を中心に職員合意の上で、適宜に実施していきます。                | 長期的な視点で、その時期を見越しての情報の整理に努めていきます。          |
|  | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                      | 4 | 1 | 現状は不十分な為、職員間での協議を図ります。  | 地域連携は優先順位を鑑み、保健機関、医療機関、行政等との連携を検討します。     |
|  | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                       | 5 | 2 | 公園や児童館で活動が重なった時は、仲よく同じ空間を過ごして貰っています。ヒトツナパーク定期開催しています。                 | 地域交流に向けての取り組みを検討します。                      |
|  | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  |   | 4 | 現状は不十分な為、職員間での協議を図ります。  | 今後は検討し、可能な限り参加します。                        |
|  | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                             | 7 |   | HUGやLINEを活用しています。送迎時やTEL対応時も保護者様との共有に努めています。                          |   |
|  | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | 1 | 適宜に話し合いや相談会を促しています。家族支援プログラムも定期開催を準備しています。                            | 家族支援の観点から、保護者様に参加していただける研修会の開催を検討します。     |
|  | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 5 |   | 利用契約時、アセスメント時、モニタリング時、個別支援計画書の作成に伴い実施しています。                           | 適宜に確認と合意を図ります。                            |

|          |  |  |   |   |   |  |
|----------|--|--|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。         | 7 |   | 児発管を中心に職員合意の上で、適宜に実施されています。   |  |
|          | 38   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 6 |   | 児発管を中心に職員合意の上で、適宜に実施されています。   |  |
|          | 39   | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 6 | 1   | 児発管を中心に職員合意の上で、適宜に実施されています。送迎時等にも助言や支援を図っています。                                  | ご家族様のお悩みに応じて、随時面談機会を設けます。                      |
|          | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 1   | 適宜に話し合いや相談会を促しています。家族支援プログラムも定期開催を準備しています。                                      | 保護者会等の開催を検討し、保護者様の交流を図ります。                     |
|          | 41   | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 7 |   | 児発管を中心に職員合意の上で、適宜に実施されています。送迎時等にも助言や支援を図っています。                                  |  |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | 7 |   | インスタ、HUG通信、HP、リタリコ、書簡等にて多角的に配信しています。  |  |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 7 |   | 細心の留意事項として職員間に周知されています。   |  |
|          | 44   | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 6 |   | 適宜に様々な手段や方法でのコミュニケーションを促し図っています。  |  |
| 45       | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 4  | 2 | ヒトツナパークとして、誰でも参加できる活動は月に1回行っています。教室周辺のごみ拾い活動は、特に武里近隣の方々との交流があります。               |   |  |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 7 |   | 事業所独自の月例避難訓練を実施しています。事業所独自の防災マニュアルも常備しています。                                     |  |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 6 |   | 事業所独自の月例避難訓練を実施しています。事業所独自の防災マニュアルも常備しています。                                     | BCPを策定しそれに基づいた訓練を実施しています。引き続き継続や改善をします。        |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。  | 6 | 1   | 利用契約時に共有確認しています。応急処置の研修を定期開催しています。  | 契約時・支援計画面談時に保護者様からの情報収集を強化していくと共に、職員間の共有に努めます。 |
|          | 49   | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 7 |   | 利用契約時に共有確認しています。応急処置の研修を定期開催しています。おやつ調理や外食レクの場合、都度保護者様に確認をしています。                | 契約時・支援計画面談時に保護者様からの情報収集を強化していくと共に、職員間の共有に努めます。 |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 6 |   | BCPを策定しそれに基づいた訓練を実施しています。引き続き継続や改善をします。   | 安全計画を作成し、必要な研修や訓練を実施しています。                     |
|          | 51   | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 5 | 1   | BCPを策定しそれに基づいた訓練を実施しています。引き続き継続や改善をします。   | 安全計画を作成し、必要な研修や訓練を実施しています。                     |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 6 | 1   | 1日1ヒヤリ&ハットを記録して、未然防止や再発防止に活かしています。毎月開催の教室会議にて協議しています。                           | ヒヤリ&ハットは必ず記録共有し、再発防止に向け迅速な対応策に役立てています。         |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 5 |   | 年間研修に組み込まれ、開催しています。「虐待・身体拘束の防止三カ条」を事務所の正面壁に掲示しています。虐待防止委員会の開催・虐待防止研修の実施を行っています。 | 毎日の振り返りにて、共有確認しています。                           |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 4  | 1 | 年間研修に組み込まれ、開催しています。「虐待・身体拘束の防止三カ条」を事務所の正面壁に掲示しています。虐待防止委員会の開催・虐待防止研修の実施を行っています。 | 毎日の振り返りにて、共有確認しています。  |  |